



保険の先へ、挑む。

SOMPOホールディングス

資料2

# 認知症にならない・なってもその人らしく生きられる 社会の実現に向けて

平成31年3月25日



SOMPOホールディングス株式会社

# 1. SOMPOホールディングス概要

「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスの提供を通じた社会への貢献という経営理念のもと、国内損保事業を中核として主に4つの領域で事業を展開しています。

会社名	SOMPOホールディングス株式会社	株式市場	東京証券取引所一部 (証券コード:8630)
創業 【持株会社発足】	1887年 【2010年】	総資産 (2017年度)	11兆9,483億円
代表取締役社長 グループCEO	櫻田 謙悟	連結従業員数 (2017年度末)	6万5,263人

## 【SOMPOホールディングスの4つの事業】

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命

損害保険ジャパン日本興亜  
セゾン自動車火災保険  
SOMPOリスクマネジメント 等

国内損保  
事業

国内生保  
事業

海外  
保険事業

32カ国・地域、228都市をカバーするネットワークを有し先進国から新興国までグローバルに事業を展開

介護・  
ヘルスケア  
事業

SOMPOケア  
SOMPOヘルスサポート

2015年12月 旧ワタミの介護を買収し介護事業に本格参入。

認知症を取り巻くさまざまな課題に対するソリューションとして、  
「SOMPO認知症サポートプログラム」を推進しています。

目指すのは

「認知症にならない・なってもその人らしく生きられる社会」

認知症の発症および進行を遅らせるために  
MCI(軽度認知障害)の早期発見と認知機能低下を予防する取組みが浸透し  
ている社会

認知症に対する正しい知識やケア技能の向上により、  
介護者の負担が軽減され、認知症になっても自分らしく安心して暮らせる社会

## 2. SOMPO認知症サポートプログラム 【CM】



認知症を発症してから80歳になってレコードデビューを果たしたテディ・マクダーモットさん。彼は家族の支えのもと、歌うことで自分らしさを取り戻せました。動画サイトで4,000万回以上再生されて世界中で話題となった認知症の父と子の実際の映像を通して、SOMPOホールディングスグループが「SOMPO認知症サポートプログラム」によって目指す姿を表現しました。本CMは、「第57回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール(以下「JAA広告賞」)」※のテレビ広告部門で「JAA賞グランプリ」を受賞しました。

※「JAA広告賞」

公益社団法人日本アドバイザーズ協会が開催する広告賞で、広告の受け手である消費者が生活者の視点から審査をする点が特徴とされる総合広告賞です。

「認知症当事者の男性が自分らしく、格好良く生きている姿を描いている」「認知症になった人もコミュニケーションを取れるという前向きな気持ちになれた。」等の評価を受け、テレビ広告部門最高位のグランプリに選ばれました。

### 3. 認知症サポーター養成への取り組み

認知症への正しい理解と対応によるお客さま対応品質向上を目指し、1万名を超えるグループ社員・代理店が認知症サポーターとなっています。

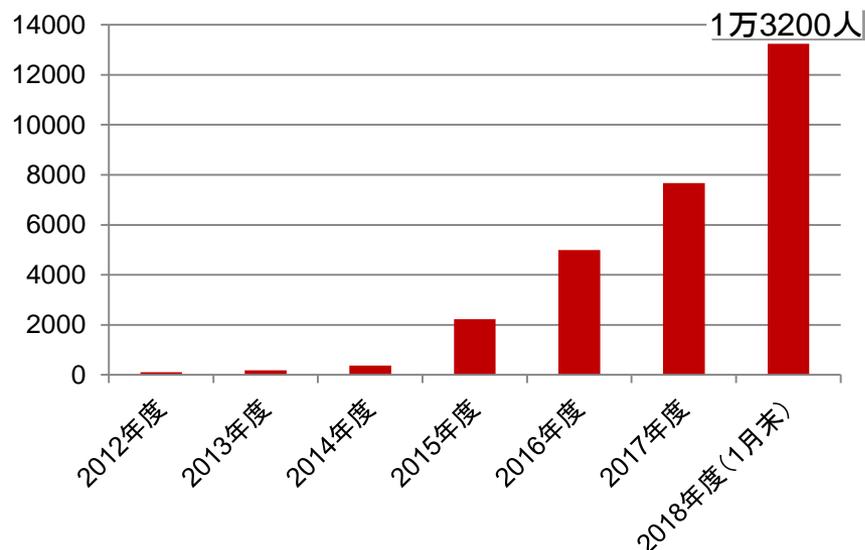


●グループ内で認知症サポーター養成講座の講師役を務めるキャラバンメイトを養成、全国各地で講座を開催しています。



●認知症キャラバンを推進する全国認知症キャラバン・メイト連絡協議会のパートナー企業です。

認知症サポーター数(キャラバン・メイト含む累計)

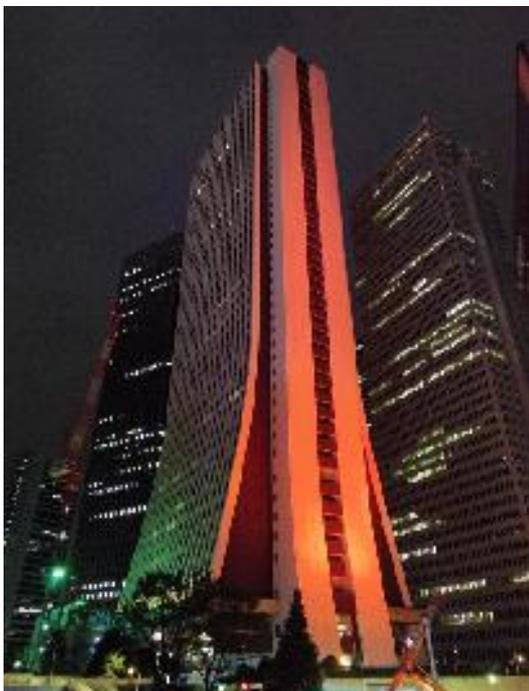


●2012年より取り組みを開始、グループ会社や代理店に取り組みを広げ、2018年にはSOMPO認知症サポートプログラムを開始したことにより取り組みを加速し8月に1万名を突破、2019年1月時点では1万3000名を超える人数となっています。

## 4. 正しい理解の促進への取組み①

認知症に対する理解を深めるため、世界アルツハイマー月間を中心に、年間を通じて様々な取組みを実施しています。

### 本社オレンジライトアップ



●世界アルツハイマーデー(9/21)にあわせ、認知症支援のテーマカラーであるオレンジに本社壁面をライトアップしました。(2017年・2018年)

### 認知症を考えるセミナー



●包括業務提携先である国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターや公益社団法人 認知症の人と家族の会、当事者の方の協力を得て、セミナーを開催しました。(2017年・2018年)

### 認知症カフェ



●認知症当事者やそのご家族、地域の方との「ほっとする交流」「楽しい時間」を過ごす、認知症カフェをSOMPOケア施設で開催しています。

## 4. 正しい理解の促進への取組み②

認知症に対する理解を深めるため、世界アルツハイマー月間を中心に、年間を通じて様々な取組みを実施しています。

### RUN伴



- “認知症になっても安心して暮らせる地域づくり”を目指し、認知症当事者の方やご家族、支援者、一般の方がひとつの櫂をつなぎながら日本を縦断する、NPO法人「認知症フレンドシップクラブ」主催のプロジェクト「RUN伴」に2017年度から協賛・参加しています。
- 2018年度は、SOMPOケアと損保ジャパン日本興亜ひまわり生命が全国1,500名規模で参加しました。

### 認知症サポートBOOK



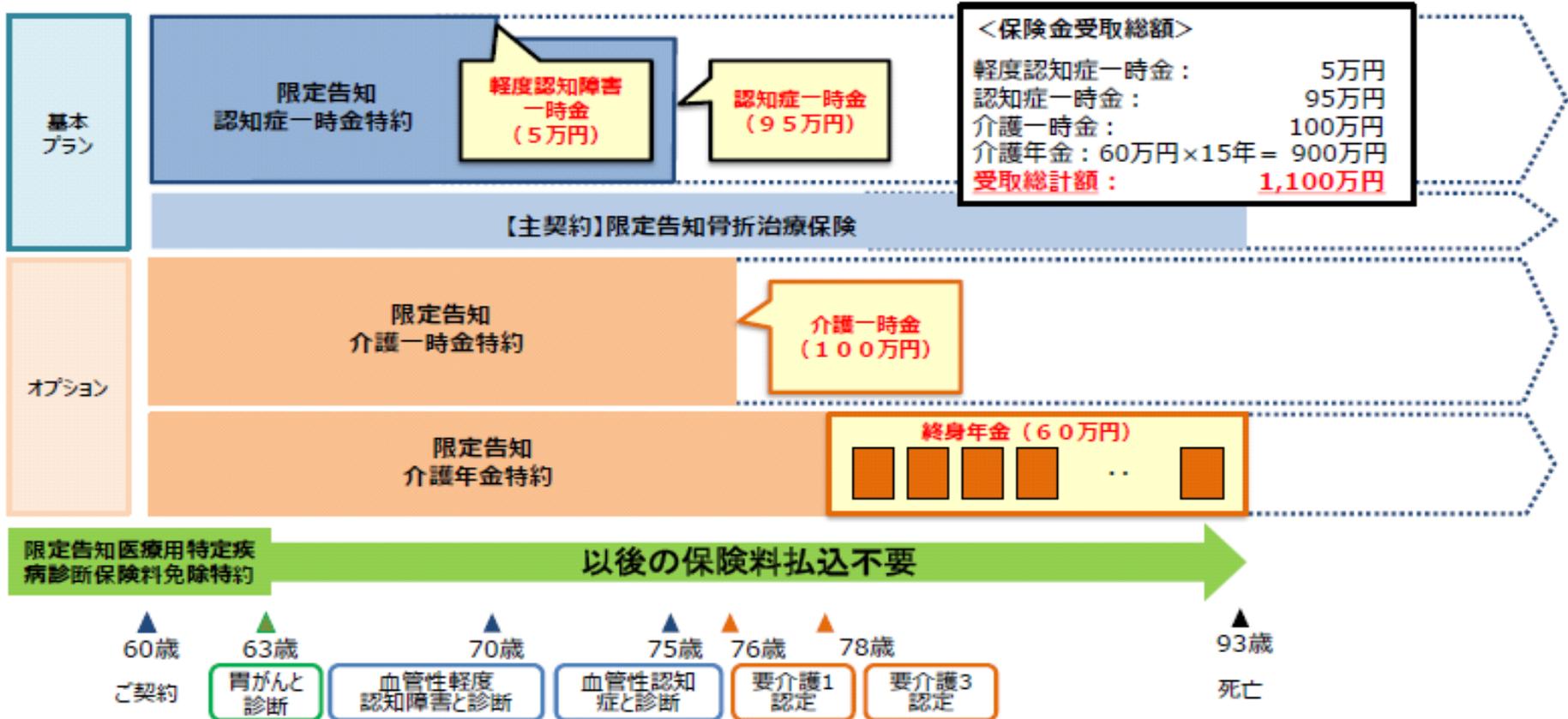
- 認知症やMCI(軽度認知障害)の正しい理解、認知症当事者や介護者の声、SOMPOの取り組みを紹介するブックを作成。
- 職員や代理店が、お客さまに認知症についてご説明する際に活用しています。

# 5. リンククロス笑顔をまもる認知症保険 (引受保険会社: 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命(株))



MCIで保険金をお支払することにより、早期発見に貢献。  
 その保険金を予防に資する取り組みにご活用いただくコンセプト。  
 認知症になられた場合も保険金をお支払いいたします。

■60歳男性 保険期間・保険料払込期間: 終身 主契約給付金額10万円 限定告知認知症一時金特約: 100万円  
 限定告知介護一時金特約: 100万円 限定告知介護年金特約: 60万円 限定告知医療用特定疾病診断保険料免除特約: あり



## 6. 「親子のちから」(親介護費用補償特約セット団体総合保険)(引受保険会社:損保ジャパン日本興亜(株))

- ・ 子が負担する親介護費用等の補償と介護サービスを一体でご提供し、親を介護しながら働く子の介護離職防止を支援します。
- ・ 企業等が契約者となり従業員等が任意に加入する、団体契約専用の商品です。

### 商品の特長

- ✓ 家族に多くの負担がかかる認知症を含めた**要介護1**<sup>(※)</sup>から補償します。
- ✓ 公的介護保険で対象外の介護に関する費用として支払った**自己負担額(実費)**を**保険金としてお支払い**します。
- ✓ 保険金を親御さまではなく、**被保険者(従業員の皆さま)**にお支払いします。
- ✓ 損保ジャパン日本興亜が提携する事業者のサービスを利用する場合、**直接**、保険金をお支払いすることが可能です。
- ✓ 「将来的な認知症や介護に備えるための情報がほしい」、「仕事と介護に追われて自宅の家事ができない」など、従業員の抱える不安・悩みを「SOMPO笑顔倶楽部」(次項参照)で支援します。

(※)要介護1かつ認知症自立支援度Ⅱa以上の場合、補償対象となります。



認知症保険等のお客さまはSOMPO笑顔倶楽部がご利用できます。  
21社28サービスをサービスパートナーを通じて提供します。

### 認知機能の低下予防から介護までの情報・サービスを提供



MCIの早期発見・早期対応に貢献するとともに、SOMPOが認知機能低下の予防から発症後の介護サービスまで一貫して提供できる体制を整備

## 8. 仕事付き高齢者向け住宅(サービス提供会社:SOMPOケア(株))

仕事を通してやりがいのある、生き生きとした生活を実現し、  
健康寿命延伸や継続的な社会参画を目指します。  
(SOMPOケアラヴィーレ多摩川で19年2月からスタート。)



(ご参考)仕事付き高齢者住宅とは  
高齢となっても自分らしく生きることのできる「生涯現役社会」を実現するために、(中略)高齢者の居場所と役割や仕事を創出し、要介護状態になることを予防し、進行を抑制する。例えば、「仕事付き高齢者向け住宅」(仮称)等について、実証事業を実施し、認知症や要介護状態の予防及び進行抑制に向けて、医学的・科学的に効果が認められるモデルケースの構築を進める。  
「未来投資戦略2017(2017年6月9日閣議決定)」より

- 仕事内容: 介護用品向けアクセサリーの製作
- 報酬 : 1回の参加につき施設内で使える500円相当のポイント支給
- 実施期間: 19年2月から1年間。原則月2回開催
- 参加人数: 10名程度(SOMPOケアが運営する介護付きホームのご利用者さま)

➡ ご利用者さまの「働きたい」「社会の役に立ちたい」という想いを実現し、地域との新たなつながり、喜びややりがいを持って暮らせるようご支援。

## 9. アーティスト・イン・そんぽの家S 王子神谷 (サービス提供会社: SOMPOケア(株))

アーティストとの関わり等による人と人とのつながりの体験を通して、ご利用者さまの生活の質の向上や地域交流を目指します。



✓「アート×福祉」の視点から、多様なアート価値観を社会に活かすことで、多様な人々が共生できる社会環境づくりができる担い手を育成する「Diversity on the Arts Project(愛称:DOOR)」を2017年4月から実施。

✓DOORの修了生であるアーティスト2名がサービス付き高齢者向け住宅に居住している。

- プロジェクト名:アーティスト・イン・そんぽの家S 王子神谷
- 対象施設:SOMPOケア そんぽの家S 王子神谷(サービス付き高齢者向け住宅)
- 期間:2018年4月~2020年3月
- アーティスト滞在人数:2名
- プロジェクトの目的:「DOOR」で学んだ修了生(アーティスト)との関わり、出来事、共同作業および出会いを通じて交わされる人と人とのつながりの体験を通して、ご利用者さまの生活の質の向上や地域交流を目指す。

### 1. 認知症に関する正しい理解が不足していることによる認知症に対する誤解や偏見

認知症には、未だに誤解や偏見が残存。その結果高齢者のできることを逆に奪ったり、家族の接し方が適切ではないケースもあり。

#### SOMPOの主な取組み:

アルツハイマー強化月間でのライトアップや各種セミナー、RUN伴の参加や認知症カフェ等を通しての啓発

### 2. 認知症保険等の普及による認知症への誤解や偏見が助長される恐れ

保険販売をするために、認知症は怖い、なりたくない、ということを不必要に煽り、その結果誤解や偏見を助長させるリスクがある。

#### SOMPOの主な取組み:

認知症サポーターの養成や「認知症保険」や「親子のちから」といった保険商品にSOMPO笑顔倶楽部を付帯することで正しい情報をお伝え

### 3. 高齢者の社会参画

認知症当事者の方も社会との繋がりや役割を持つことが重要な側面もある一方、就労含めて、活躍の場が適切に提供されていない。

#### SOMPOの主な取組み:

仕事付き高齢者向け住宅等へのチャレンジ、アーティスト・イン・そんぽの家 S王子神谷